

## 2025年度看護部看護職員教育計画

	レベル1(新卒)	レベル2(2年目～4年目)	レベル3(3年目～5年目)	レベル4(4年目～6年目)	レベル5(5年目以上・中途採用)	エルダー
教育目的	1.職場への早期の適応と看護実践者としての基本的な能力を習得する。 2.メンバーとしての役割について考え行動することができる。	1.個別性を重視した看護の提供ができチームの中でメンバーシップを発揮する。 2.受け持ち看護師としてリーダーシップのあり方について理解し、実践できる。	受け持ち看護師としてリーダーシップを発揮し、日々のリーダー業務を確実に実践する。	後輩への支援と共に、チームリーダーの役割が果たせ、主体性をもった看護実践をする。	組織の中でリーダーの役割を果たし、看護実践者としての役割モデルとなる。	指導者としての自覚を持ち日々の看護や後輩の指導にリーダーシップを発揮する。
段階別到達目標	1.白根大通病院の一員としての自覚と責任を持つ。 2.安全・安楽な看護を提供できる知識・技術を習得できる。	1.受け持ち看護師の役割が果たせ、自立できる。 2.メンバーとしての役割を理解し、メンバーの役割と責任を果たせる。 3.新人看護職員を支援できる。	1.リーダーの役割を理解し、メンバーとして積極的に協力できる。 2.エルダー、新人看護職員の支援の方法がわかり、実践できる。	1.リーダーとして日常の看護業務を遂行できる。 2.自ら進んで病棟運営に協力できる。 3.エルダーの指導・支援を実践できる。	1.病棟の係、病院の委員会活動で、リーダーシップを発揮できる。 2.病棟の管理・運営に参画できる。 3.新人指導が病棟全体で関わられるよエルダーのバックアップ計画を実施できる。	1.エルダーの役割を理解し、新人看護師の指導・支援ができる。 2.自己の看護の振り返りができ、指導に活かすことができる。
看護実践	・指導を受けながら看護計画に沿った看護実践を行うことができる。 ・指導を受けながら看護技術が手順に沿って安全・確実に実践できる。 ・対象の理解と対象に応じた看護を展開できる。	・顕在化している問題を明確にし、看護過程を展開する。 ・日常の看護が根拠に基づき判断できるよう支援を受け、安全に実施できる。	・潜在している問題を明確にし、個別性を踏まえた看護過程が展開できる。 ・日常の看護が根拠に基づき判断でき、安全に実施できる。	・根拠に基づきかつ実践的知識を活用し安全・安楽な看護を実践する。 ・他部門との連携を図りながら看護実践する。	・熟練した技術と根拠に基づきかつ実践的知識を統合した看護ができる。 ・医療チームと連携を図りながら看護実践できる。	・看護技術を看護手順に沿って指導できる。 ・看護記録を記録の記載基準に沿って指導できる。
管理リーダーシップ	・チーム医療の構成員及びメンバーとしての役割を理解できる。 ・指導を受けながら管理的側面に沿った実践ができる。 ・チーム医療の役割について考え行動することができる。	・チームメンバーとしての役割を果たし業務が実践できる。 ・受け持ち看護師としての役割が果たせる。 ・リーダー業務について知ることができ、3年目のリーダー業務の準備ができる	・日々のリーダー業務を指導のもと行える。 ・受け持ち看護師としてリーダーシップが発揮できる。 ・個々に合わせた指導的役割が果たせる。(新人・後輩指導)	・日々のリーダー業務で報告・連絡・相談ができ、自立する。 ・委員会・係で、役割(メンバーシップ・リーダー)を遂行できる。 ・個々に合わせた指導的役割が果たせる。(新人・後輩指導・学生指導)	・病棟の目標を理解し、意欲的に取り組むことができる。 ・主任・副師長を補佐し、病棟委員会・係の活動でリーダーシップを発揮できる。 ・役割モデルとなり、後輩指導ができる。 ・ヒヤリハット・アクシデント事例から危険を予測し、状況に応じた対応ができる。	・新人教育計画に沿って指導的役割が果たせる。
倫理	・社会人・専門職業人として必要な基本姿勢と態度を身につけることができる。 ・指導を受けながら看護者の倫理綱領を理解し、行動できる。	・日常ケアで自分自身の倫理的問題に気づくことができる。 ・看護者の倫理綱領に沿った行動ができる。	・日常ケアで自分自身の倫理的問題に気づき、改善できる。	・自律して患者を擁護し、代弁者として行動を起こすことができる。	・倫理的視点で日常ケアを後輩に指導できる。	・職場における倫理的問題に気づくことができる。
研究	・日常の行動の中で「なぜそうするのか」を考えることができる。 ・院内での看護ケア研究会(看護、介護)に参加し、研究に関心をもつことができる。	・実践した看護を振り返り、自分のやりたい看護を意識し、行動できる。 ・ケースレポートの準備、まとめができる。	・ケースレポートの発表ができる。 ・メンバーの一員として研究活動に協力できる。	・研究テーマをみつけ、研究に取り組める。 ・研究を計画し、メンバーと共に実践することができる。	・研究の助言・支援ができる。(ケースレポート・看護研究リーダー・看護研究・指導者) ・研究を院内外で発表することができる。	・部署の研究に自主的に参加・協力できる。
自己研鑽	・看護に必要な知識について、「何ができて、何ができないか」をつかみ、主体的に自己学習に取り組める。 ・部署の勉強会や院内研修に参加できる。	・院内外研修に参加し、看護実践に生かすことができる。 ・疑問に対して文献を用いて、または支援を受けて解決できる。	・疑問に対して主体的に学習し、研究的姿勢をもつことができる。	・学習課題を明確にして、院内外研修に参加し、看護実践に生かすことができる。	・自己のキャリアプラン(認定・専門看護師・管理・学生指導・医療安全等)を計画できる。 ・院内外の研修に主体的に参加し看護実践に生かすことができる。	エルダー・メンターの研修に参加し、指導する上での課題が見出せる。
集合教育	新人看護職員教育計画による研修 他部署訪問・チーム医療研修	メンバーシップ研修 看護の振り返り 受け持ち看護リーダーシップ研修	リーダー業務報告会 ケースレポート発表	リーダーシップ研修 (交流分析・事例検討)	係のリーダーシップ研修 係のリーダーシップ活動報告会	動機づけ研修 振り返り研修 まとめ研修
病棟内教育	新人看護師教育計画による指導	リーダー業務見学・振り返り 臨床能力チェックリスト評価	リーダー業務見習い研修 臨床能力チェックリスト評価 ケースレポート		ケースレポート 看護研究リーダー 看護研究指導者	

\* 2023年度4月より卒業年数の変更 同レベルにとどまることが可能。成長を確認していき、次のレベルに進むことができる。